

消防団の活動内容

主な行事

消防出初め式（1月）

消防職・団員が一堂に会し、職務遂行への決意を新たにします。

消防職・団員連携訓練（5～10月）

消防職員と消防団員が互いの連携を強化するため、毎月第4日曜日に訓練を実施し、技術向上、安全管理の徹底、災害時の即時対応強化を図ります。

消防訓練大会（9月）

市内7分団による日頃の訓練の成果として、消防技術を競う大会を行います。

平常時の活動

火災予防広報、消防団員訓練、訓練礼式、機器取り扱い、放水訓練のほか、救急講習指導・高齢者世帯防火指導（女性団員のみ）など行います。

非常時の活動

消防職員と連携した消火活動支援や大規模自然災害などでは避難誘導などを行います。

入団後の処遇

被服貸与

活動で必要となる活動服や装備品を貸与します。

報酬

1年間の活動に対する年額報酬と各種訓練や災害出動など、消防団としての活動には報酬が支払われます。

団員報酬（年額） 36,500円

災害出動（日額） 4,000円

訓練出動（日額） 3,000円

災害補償

活動中に負傷した場合の補償制度があります。

退職報償金

5年以上消防団活動された方に支給します。



いま しょうたろう
今井亮太郎さん
(幌別分団・学生団員)

①消防職員になるために日本工学院北海道専門学校に入学し、消防団員のことを知りました。訓練のほか、さまざまな行事に参加することで、登別市に関わり、地域貢献もできると思い入団を決めました。

②入団を機に、日頃のあいさつや言動に気を遣うようになりました。また、先輩団員の動作・姿勢などに驚きました。

③いろいろな年代の方や職種の人たちと積極的に交流を深めて、成長できればと思います。また、災害現場で活躍できるようにたくさん訓練を行い、登別市に貢献したいです。

④普段できないことを勉強できる機会だと思うので、ぜひ入団して、一緒に登別市に貢献しましょう。

⑤ロープ結索、ホースの扱い、放水訓練は特にやってみたいです。訓練以外では、消防団員としてどのように地域との関わり合いがあるかを学びたいです。



やま だいき
山田大樹さん
(富士分団)

①小さい頃から『消防』というものに興味・憧れがありました。現在違う職種に就いていますが、消防団という組織で何か役に立てることがあるのであればと思い、入団させていただきました。

②礼式一つにしても、一糸乱れぬ動きで良い意味での緊張感が毎回あります。団結した消防団であるために、早く自分も覚えなくてはなりません。

③火災や災害時の出動だけではなく、火災などに関する啓発活動にも参加したいと思っています。消防団員として自分のことを行っていくたいです。

④本業や家庭を優先しての消防団活動です。興味のある方、地域貢献をしてみたい方はぜひ一緒に消防団活動を行ってみませんか。消防団活動を通じて自らの防災意識を高める事もでき、大切な命を守るヒントがあると思います。



おか くら しどう
岡倉獅童さん
(幌別分団・学生団員)

①小学5年生の頃、父親と登山中に遭難した時に消防職員に助けられ、実際に自分が助ける側の仕事に就きたいと思ったからです。

②入団をきっかけに、消防職員になりたいという思いがより強くなりました。フランクで明るい方も多く、とても楽しいです。

③災害現場で活躍できるように、ロープ結索やホース展張などの訓練を行いたいです。登別市の消防団員として、明るく迅速に行動ができる団員になりたいと思っています。

④たくさんの方と交流ができフランクで明るい方も多いので、まずは入団してみることをお勧めします。

⑤さまざまな訓練があると思いますが、ロープ結索訓練が一番興味があります。実際の現場での活動も学びたいと考えています。



よし かわ としゆき
吉川敏行さん
(鶯別分団)

①知り合いに消防団員の方がいて、話を聞いてるうちに興味を持ち、入団しました。

②異なる世代の方々と関わる機会が増えましたが、団員の方々は皆優しく丁寧で、雰囲気も良く、いろいろと教わりながら日々の訓練に参加しています。

③火災や災害時に迅速に活動し、市民から信頼されるような団員になりたいです。また、ホースの取り扱いやロープの結索など

基本的な訓練はもちろんですが、特に機関員に興味があるので、機関員訓練をたくさん行いたいと思います。

④消防団活動は敷居が高く感じられるかもしれませんが、仕事やプライベートとの両立が可能で、また日常生活では決して得ることのできない経験ができ、社会貢献につながる活動だと思っています。少しでも興味がある方は、ぜひ一緒に活動しましょう。

今 あなたの力が必要です
大切な人やまちを守りませんか？

消防団員を募集しています

問い合わせ 消防本部総務グループ (☎05 9 6 1 1)



消防団とは

市町村の非常備消防機関で、その構成員の消防団員は他の本業を持ちながら、権限と責任を持つ非常勤特別職の地方公務員として『自らの地域は自ら守る』という精神に基づき、消防防災活動を行っています。

消防団員の入団資格

登別市に在住する18歳以上60歳未満の方で、心身ともに健康な方であれば、サラリーマン、主婦、学生など職業は問いません。



ささ や のぞむ
笹谷望さん
(登別温泉分団)

①消防訓練時などの際に消防職員がパンフレットを持ってきて、勧誘をしていたことがとても印象にありました。昔から興味もあり、職場内でも団員を増やす動きがあったため、頑張ってみようと思い志願しました。

②最初の印象としては消防職員の補助的な意味合いが高いのかと思っていたのですが、実際に訓練していく中で、思っていたよりも消防の活動に参加すること

が分かったことが驚いた点です。

③消防職員の方々から信頼され、火災現場でサポートできる団員になれるように頑張りたいです。

④なかなか敷居が高いと思われると思いますが、少しでも興味がありましたら、地域を守るために一緒に頑張りたいです。



のむら しんご
野村真悟さん
(登別温泉分団)

①一昨年に登別温泉で見舞われた水害に対して、消防団員・消防職員の一致団結した活動を見て、自分も地域に何か貢献できないかと考え、消防団に入団しました。

②カルルス地区の職団員合同訓練で急勾配の坂を重たいホースを携行し走るのが大変で、消防団員として日々体力錬成や訓練を実施する大切さを再認識しました。

③訓練大会に出場し良い成績を収めたいです。また、地域住民から頼りにされ、チームワークを大切に活動できる団員になりたいです。

④入団して間もない頃はロープワークや土のうの使い方も分かりませんでしたが、異なる業種の同じ志を持つ仲間と共に、実際の災害を想定した訓練を通して技術や知識を身に付けることができます。入団したいという気持ちさえあればここでしかない貴重な体験ができます。



かわ はらしょうと
川原彰斗さん
(登別分団)

①父が長年、消防団活動を行っていることもあり、勧められたのがきっかけでした。さまざまな職種の先輩方と関わることで広い視点で物事が考えられ、人間的に成長ができると感じています。

②訓練礼式の訓練で、慣れない動作や言葉を覚えることが大変でした。

③災害現場で、迅速に確実な活動ができるようにたくさん訓練を

行い、地域の方々から信頼される団員になりたいです。また、今年から登別市消防訓練大会に出場予定なので、操法を通じて節度や動作を覚えつつ、上位を目指して頑張ります。

④消防団活動は、さまざまな職種の先輩方との関わりを通して自分自身が成長できる場所です。自分が育ってきたまちを自らの手で守っていく防災意識が消防団員としての自信につながると感じています。

地域の安全・安心は
私たちが守ります！

新人団員インタビュー！

消防団活動の

気になる **あれ**・**これ**

- ① 入団の理由・きっかけ
- ② 実際に入団してみた感想
- ③ 今後の意欲・目標
- ④ 入団を考えている方へメッセージ
- ⑤ 入団して学びたいと考えていること
(学生団員のみ)